

第4回 子どもと親の SOS をキャッチする仕組みを考えるシンポジウム

今回のテーマは

「聞いてください、私たちのなやみとねがい！」 ～京都市で暮らす(主に)知的障害のある人と家族の暮らしの実際と思い～

2020年7月16日、京都市内で総合支援学校高等部2年生の少年が母親の手により命を奪われる事件が起きました。それから2年がたちます。この事件を我がことと受け止めた親や専門家が集まり、意見を交わしました。親の想いをたくさんの方と一緒に考えたいと、これまで3回のシンポジウムを開催しました。

その後実行委員会では、事件は氷山の一角で、多くの親が子育てに悩み、卒業後の進路や今後の暮らしへの不安と背中合わせの暮らしを何とかしたいと考えました。そこで、京都市に暮らす学齢期から成人期の子どもをケアしている家族の生活実態や社会資源の利用実態調査し、具体的に改善のための提案をすることだと考えました。

短期間でたくさんの家族が調査に協力していただき、報告書としてまとめることができました。家族の願いを実現するための京都市に対しての要望もまとめています。

障害のある当事者や家族が、安心して暮らすことのできる地域づくりをご一緒に考えませんか、お誘いあわせの上、ご参加ください。久しぶりの対面での実施です。体調管理や感染対策をしていただいた上でのご参加宜しくお願ひします。



日時: 2022年12月25日(日)
14時～16時

会場: 佛教大学二条キャンパス N1-701
(JR 嵯峨野線「二条駅」徒歩1分)

*当日資料代300円いただきます。

プログラム

開会

14時～14時30分 調査についての報告とそこから読み取れること 田中智子さん(佛教大学)

14時30分～15時15分 要望書について 家族、事業所、支援者の立場から願うこと

15時15分～15時55分 質問・意見交換

16時 閉会

<申し込み>

申し込みは QR コードからお願いします。

「氏名」「所属」「連絡先」を記入してください。

<https://forms.gle/5Z9ibCZtFFY>



主催: 京都障害児者の生活と権利を守る連絡会